

## 第5回 住民説明会要旨

第5回目の住民説明会は、現場での施工着手に先立ち、23年度内の工事スケジュール及び完成後の活動内容についてご説明し、ご意見をいただきました。

### 開催日時等

平成23年5月11日(水) 19:00~20:20 網走市農村環境改善センター

### 説明者

環境省釧路自然環境事務所 次長 則久雅司、野生生物企画官 渡辺洋之、国立公園・保全整備課自然保護官 柳澤暁

北海道環境生活部自然環境課 本間主査、角谷主任  
(他にオホーツク総合振興局環境生活部、網走市市民部、同経済部、小清水町産業課が同席)

### 参加者

地域住民の皆様計20名  
報道機関4社

### 説明概要

#### 1. これまでの検討経緯

この住民説明会は、今回で通算5回目となりますが、毎回、新たな出席者の方がいらっしゃり、今までの検討経緯が分からないとのご指摘があったため、1回目から4回目までの検討経緯を順次、ご説明いたしました。

なお、整備概要を広く紹介するためのリーフレットの作成を、また、説明会での検討経緯を詳しく紹介するためのホームページの公開を予定していることをそれぞれの案をお示しして御紹介しました。

#### 2. 工事の予定について

今後の施工スケジュールについて、北海道よりご説明しました。

5月後半から6月にかけて対象エリアのヒオウギアヤメを移植。その後、7月より、水路の付け替えを実施し、建築工事に着手し、1月までに建物と外構を完成。一方、展示工事関係は、3月まで要します。この過程において、7月から11月までは、現在の白鳥公園の駐車場に仮囲いを設置し、作業のバックヤードとする他、12月から1月にかけては駐車場自体の再整備を行うことから、7月から来年1月末までは全面的に使用できなくなること、また、2月から3月にかけても展示工事の関係で、一部を除いて駐車場の使用はできなくなることをご説明しました。

なお、この3月の東日本大震災の関係で、部品(金具類)の調達が遅れた場合には、このスケジュールから遅れる可能性があること、また、震災関係で、整備予算に5%の留保がかかったため、発注段階では、ソーラーパネルを除外し、木道についても予定通りには施工できない可能性が高いことをご説明しました。

また、昨年度 11 月から引き続き、鳥類調査を 7 月にかけて実施する他、6 月には保全するエリアを対象に植生調査を実施し、これらの調査結果と地元のご意見、予算の限度を考慮して、木道の最終的なルートを選定する旨を御説明しました。

### 3. 管理運営のイメージと事業メニュー

管理運営体制については、関係機関・団体による「<sup>とうふつこ</sup>濤沸湖水鳥・湿地センター運営協議会」を設けて運営していくことをご説明した後、網走市より現時点で想定している具体的な事業メニューについてご説明しました。

これらの事業は、現在、網走市と小清水町内で行われているものを中心としつつ、この施設の完成後は、調査研究の支援や、「こどもラムサール」イベントの開催など交流イベントを行っていく他、学校の総合学習を支援すること。また、ホームページでの情報発信や今年度作成に着手しているガイドマップによる普及啓発を図っていくことをご説明しました。